

第91回日本感染症学会西日本地方会学術集会  
第64回日本感染症学会中日本地方会学術集会  
第69回日本化学療法学会西日本支部総会

# 動画作成マニュアル

# PowerPointによる動画作成

---

- ・[共通] 準備物 … P 2
- ・[共通] 講演データの作成について … P 3
  
- 音声付き動画の作成方法
- ・[Windows共通] マイクの確認方法 … P 4
- ・[Windows] PowerPoint2019・Office365 … P 6
- ・[Windows] PowerPoint2013・2016 … P11
- ・[Windows] PowerPoint2010 … P15
- ・[Mac] PowerPoint for Mac 2019 … P20

# 事前準備

## 1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

- ・Windows : PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office365のいずれか
- ・Mac : PowerPoint for Mac 2019, Office365のどちらか

※PowerPoint for Mac は 2019より前のバージョンは非対応です。

## 2. マイク(音声入力ができる環境) ※音声付きの場合

内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声(ノイズ)も録音されてしまう為、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。

# 事前準備

## 3.動画に利用する PowerPoint データをご確認ください

### 《 留意事項 》

- ・スライド枚数:6枚以内、発表時間:3分程度にてお願い致します。
- ・COI(利益相反)開示スライドを、発表スライドの1枚目に必ず挿入してください。
- ・スライドの最後に、質問受付用のご連絡先(筆頭著者、または発表責任者のメールアドレス)を記載してください。
- ・非表示設定を行わない限り、すべてのスライドが動画に組み込まれます。  
動画内で表示を希望しないスライドはすべて「非表示」に設定してください。
- ・ご提出前に、必ず演者の先生ご自身でも動画をテスト再生いただき、音声・スライド内動画の再生確認や、記載事項に漏れがないかご確認をお願いいたします。

<音声付き動画の作成方法>

# Windows共通 マイクの確認方法

# マイクの確認方法

「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認してください。  
また、「マイクのテスト」にて試しに発声し、反応することを確認してください。

The image shows a sequence of four screenshots from the Windows Settings application, illustrating the steps to check the microphone status. Red boxes highlight the specific elements being navigated to, and blue callouts provide additional instructions.

- ① スタート**: The Windows Start button is highlighted in the taskbar.
- ② 設定**: The Settings application icon is highlighted in the Start menu.
- ③ システム**: The 'システム' (System) category is highlighted in the Settings app. A red arrow points from this category to the 'サウンド' (Sound) option in the next screenshot.
- ④ サウンド**: The 'サウンド' (Sound) settings page is shown. The '入力デバイスを選択してください' (Choose an input device) dropdown menu is highlighted, showing 'マイク配列 (Synaptics Audio)'. A blue callout box says: 「プルダウンに表示があれば入力デバイスが登録されている」 (If it is displayed in the dropdown, the input device is registered). Below this, the 'マイクのテスト' (Test microphone) section is highlighted with a red box, and a blue callout box says: 「試しに発声し、「マイクのテスト」が反応すればマイクが機能している」 (Try speaking, and if the 'Test microphone' reacts, the microphone is functioning).

<音声付き動画の作成方法>

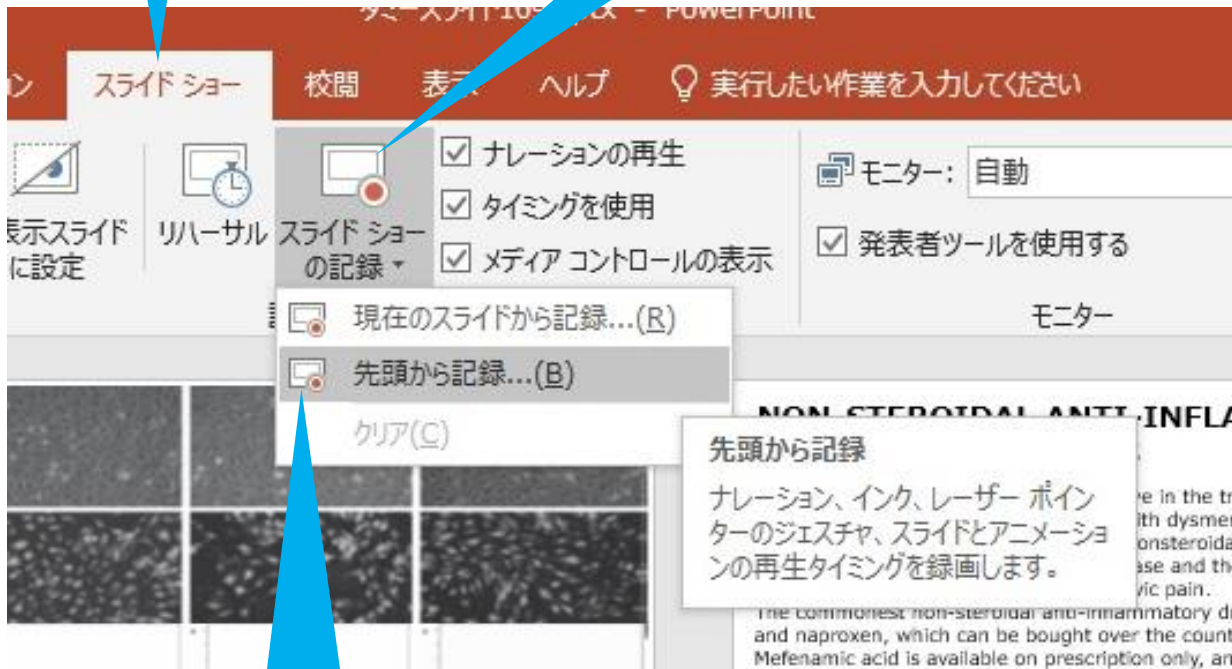
Windows  
PowerPoint2019・Office365

# I. 音声・スライド切り替えの記録方法

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック

⑤「記録の開始」をクリックして  
録音を開始する



③「先頭から記録」をクリック

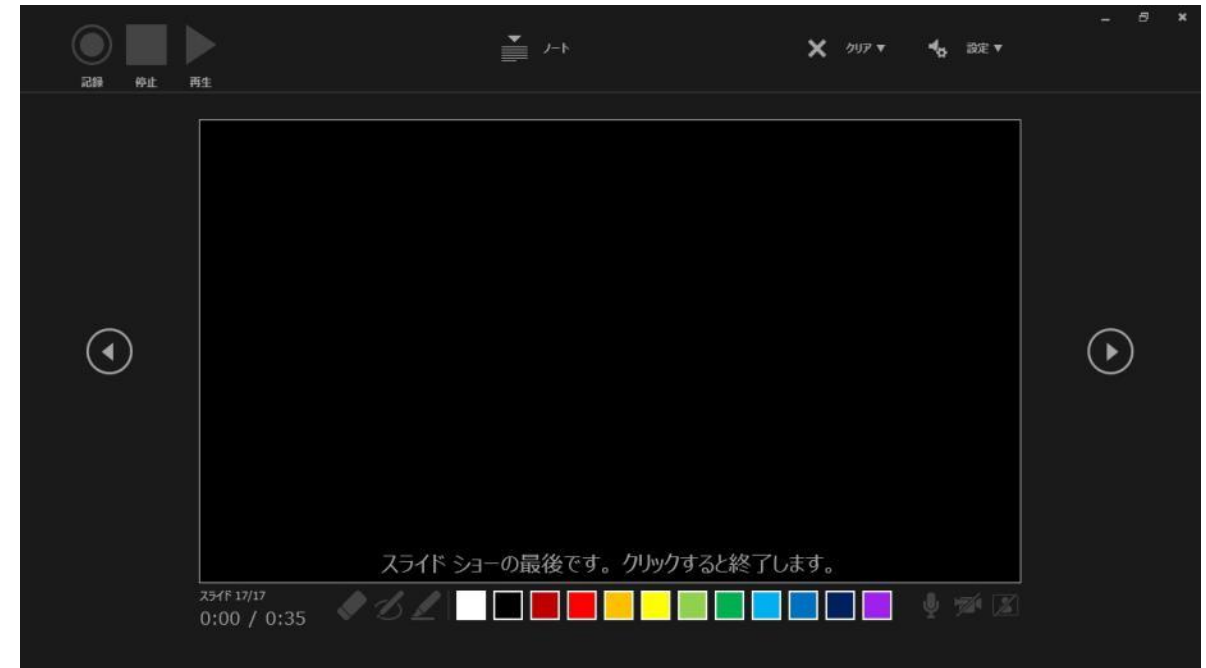


④内臓カメラが有効な場合、子画面でカメラ映像も記録されてしまう為、カメラはOFFにしてください



⑥スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)

⑦下記画面まで進めると自動的に録音が停止し  
スライドをもう1枚進めると編集画面に戻る



「記録の停止」をクリックすると  
そこまでの記録が残る

矢印もしくはスライド上をクリックすると  
次に進む

「記録の一時停止」をクリックすると  
記録が一時停止となる

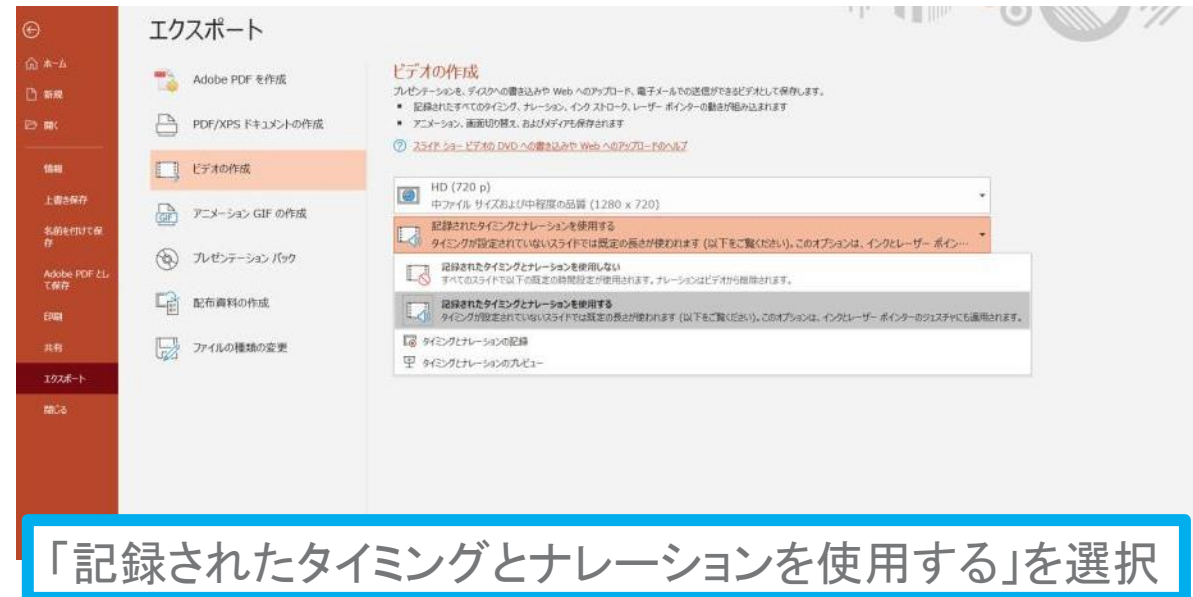
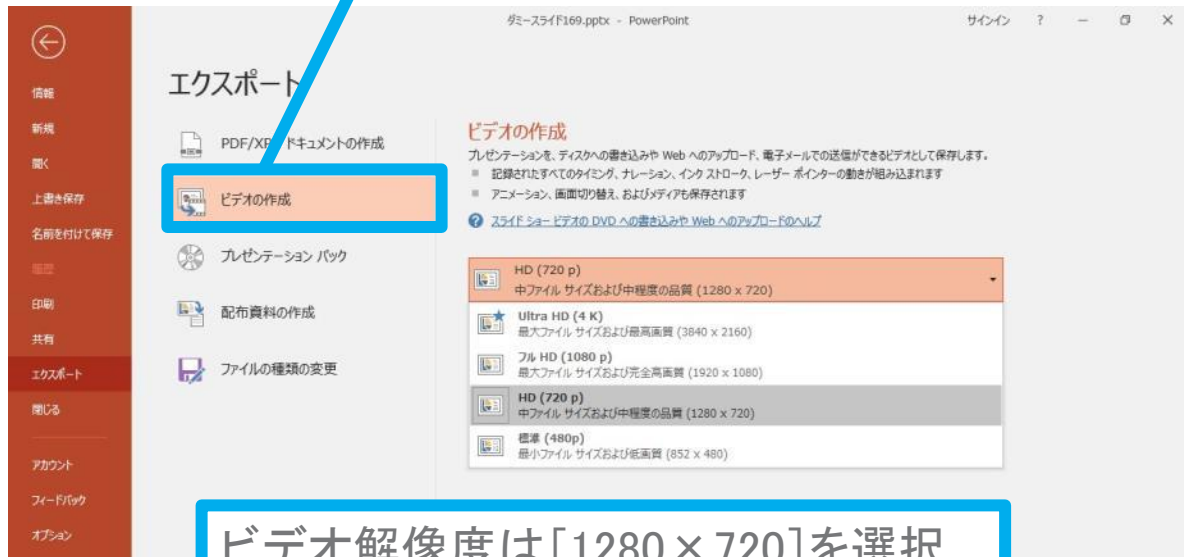


⑧スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ→「スライド一覧」を選択し、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを確認後、PowerPoint を保存した上、一度 ファイルを閉じてください(新しく名前を付けて保存)。

再度保存したファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミングに問題がないかご確認ください。問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行ってください。

## Ⅱ.動画(MP4ファイル)への変換方法

### ⑨ 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



「ビデオの作成」をクリックすると、「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。  
 ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択してください。  
 右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

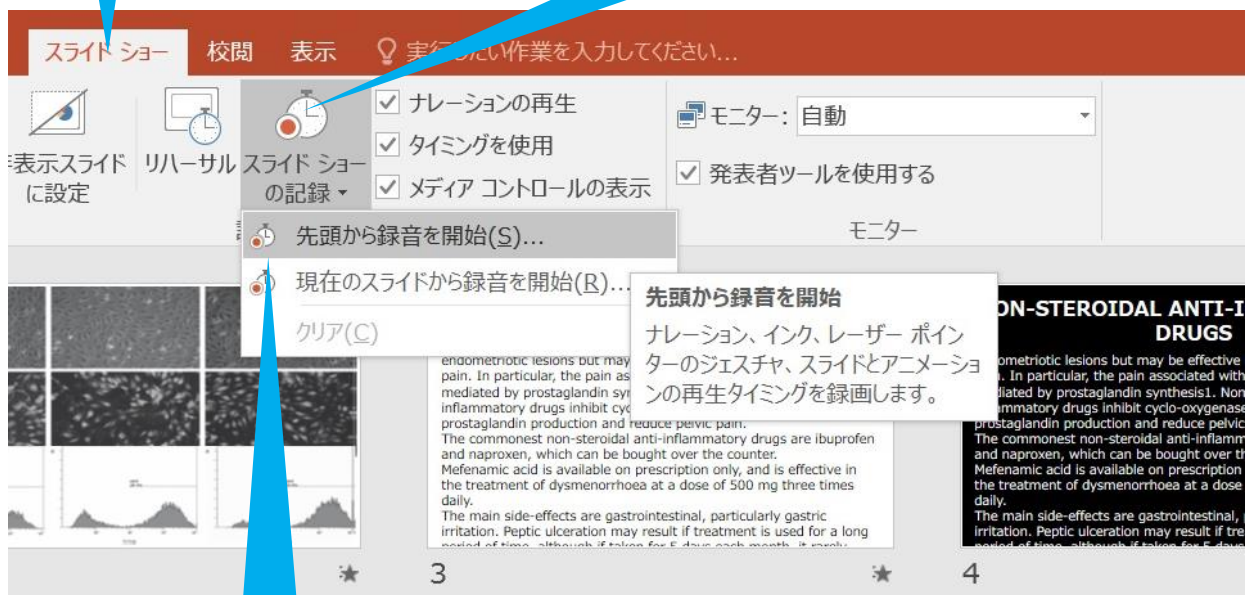
<音声付き動画の作成方法>

Windows  
PowerPoint2013・2016

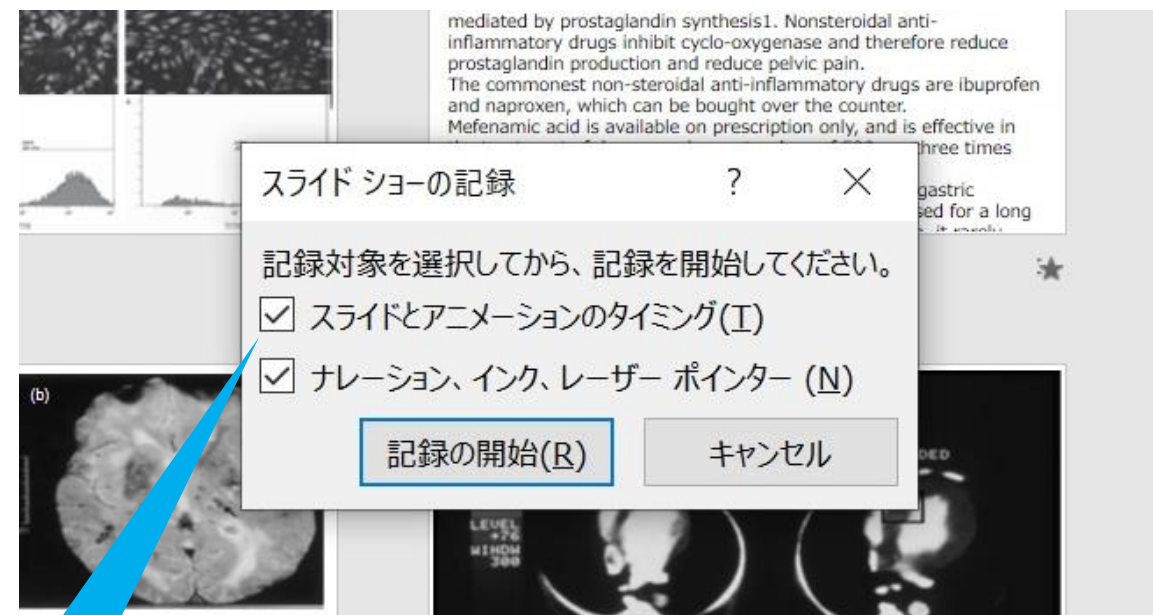
# I. 音声・スライド切り替えの記録方法

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック



④「スライドとアニメーションのタイミング」、  
「ナレーション、インク、レーザーポインター」の  
両方にチェックが入っていることを確認し  
「記録の開始」をクリックして録音を開始する

⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
 (タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存した上、データを一度閉じてください  
 (新しく名前を付けて保存)。

再度、保存したファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等に問題がないかご確認ください。問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行ってください。

## Ⅱ.動画(MP4ファイル)への変換方法

### ⑦ 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」を選択



ビデオ解像度は[1280×720]を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

<音声付き動画の作成方法>

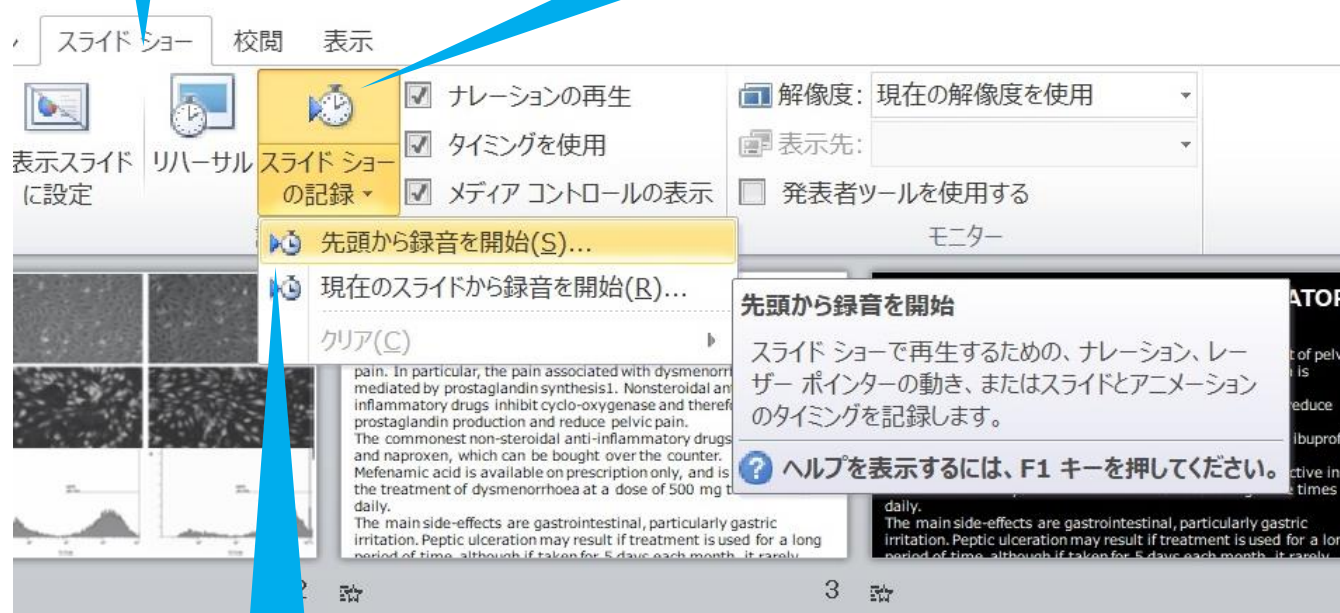
Windows  
PowerPoint2010



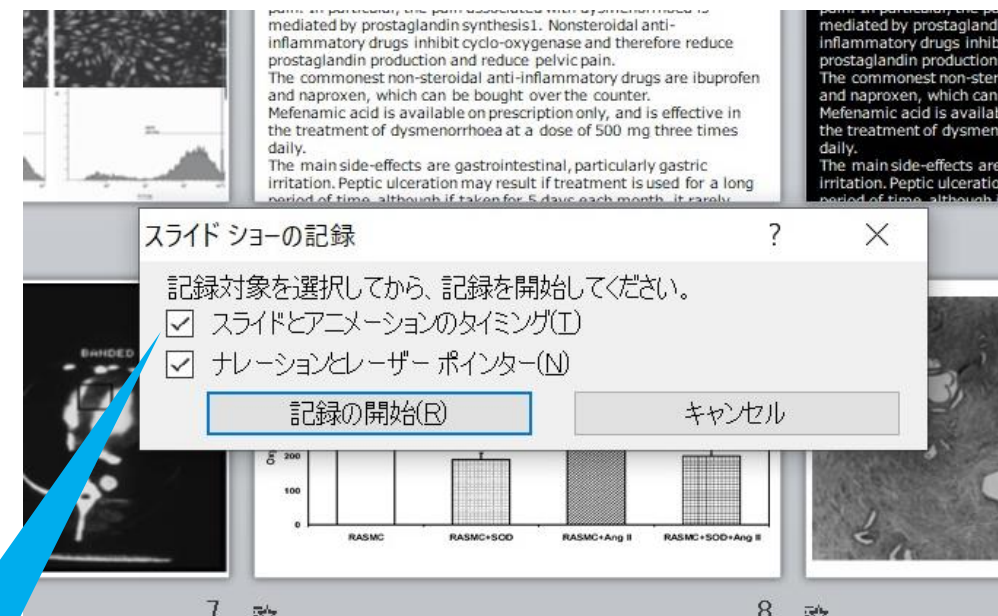
# I. 音声・スライド切り替えの記録方法

①「スライドショー」タブをひらく

②「スライドショーの記録」をクリック



③「先頭から録音を開始」をクリック



④「スライドとアニメーションのタイミング」「ナレーションとレーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認し「記録の開始」をクリックして録音を開始する

- ⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声が届いていないので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



- ⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存した上、データを一度閉じてください(新しく名前を付けて保存)。

再度、保存したファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等に問題がないかご確認ください。問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行ってください。

## ⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う 「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



ビデオ解像度は[1280×720]を選択

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。ファイル名を指定し、ファイル形式では[MP4形式]を選択します。右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

<音声付き動画の作成方法>

Mac  
PowerPoint for Mac 2019

# I.マイクの確認方法

「システム環境設定」→「サウンド」→「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認してください。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応するか確認してください。

The image shows a sequence of steps to check microphone settings on a Mac. It starts with the System Preferences window, where 'System Environment Settings' is highlighted. An arrow points to the 'Sound' icon. A second window shows the 'Sound' panel with the 'Input' tab selected. A 'Test' button is highlighted, and a volume slider for 'Input Level' is also highlighted. A final callout explains that speaking into the microphone and seeing a response on the 'Input Level' slider indicates it is working.

登録されていることを確認

①システム環境設定

システム環境設定

サウンド

②サウンド

サウンド

サウンドエフェクト 出 入力 ③入力

サウンドを入力する装置を選択:

名前  
内蔵マイク

選択した装置の設定:

入力音量: [スライダー]  
入力レベル: [スライダー]

環境ノイズリダクションを使用

主音量: [スライダー] 消音

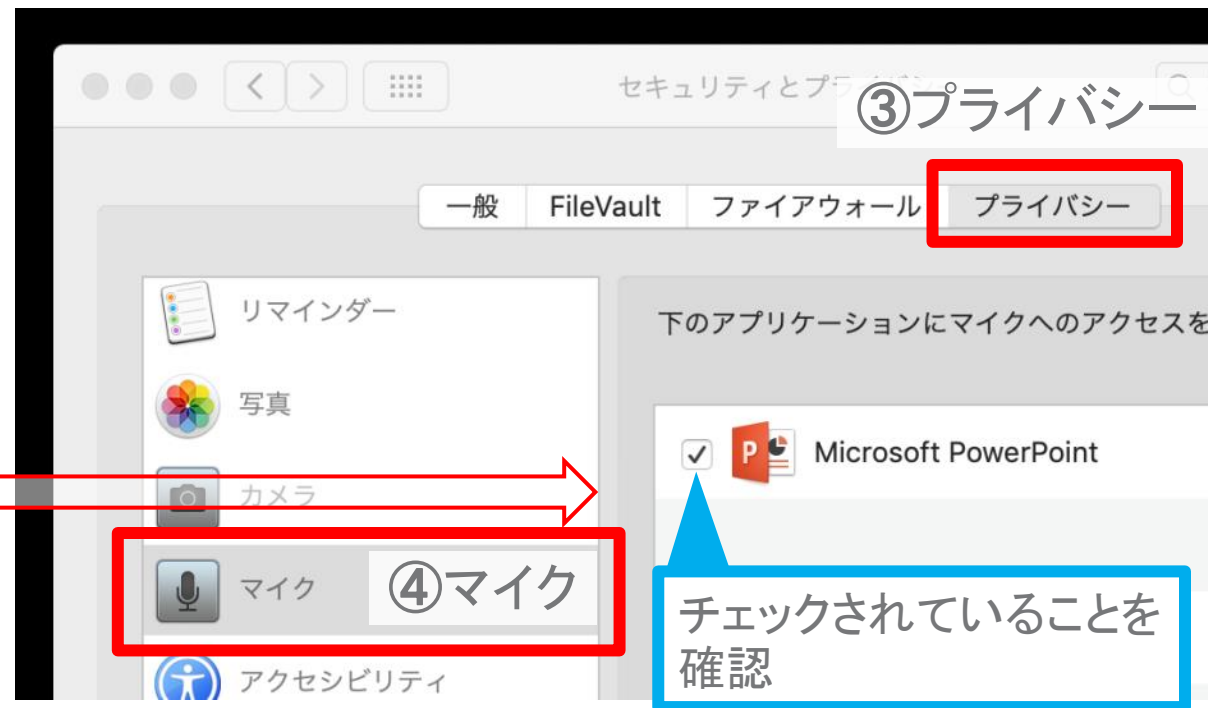
メニューバーに音量を表示

試しに発声し、「入力レベル」が反応すればマイクが機能している

## Ⅱ . PowerPoint のマイク入力の確認

「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認してください。

### ①システム環境設定

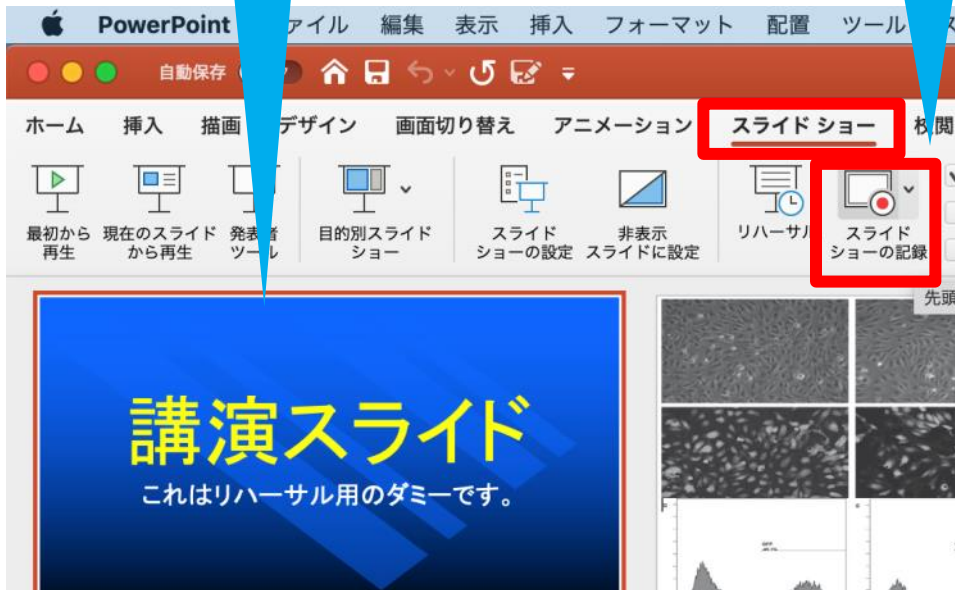


## Ⅲ. 録音の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されているかご確認ください。  
「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まります。

①1枚目が選択されている状態であることを確認

②カーソルを合わせたときに「先頭から録音を開始」という注釈が現れる場合があります



## IV.スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。

ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライドを送るタイミングと音声のみです。

タイトルスライド、及びスライドの切り替え時には音声が途切れてしまう場合があります。

次のスライド表示後、一拍おいてから話し始めてください。

また、記録中に前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音を上書きされますのでご注意ください。



メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用をしても、動画には記録されません



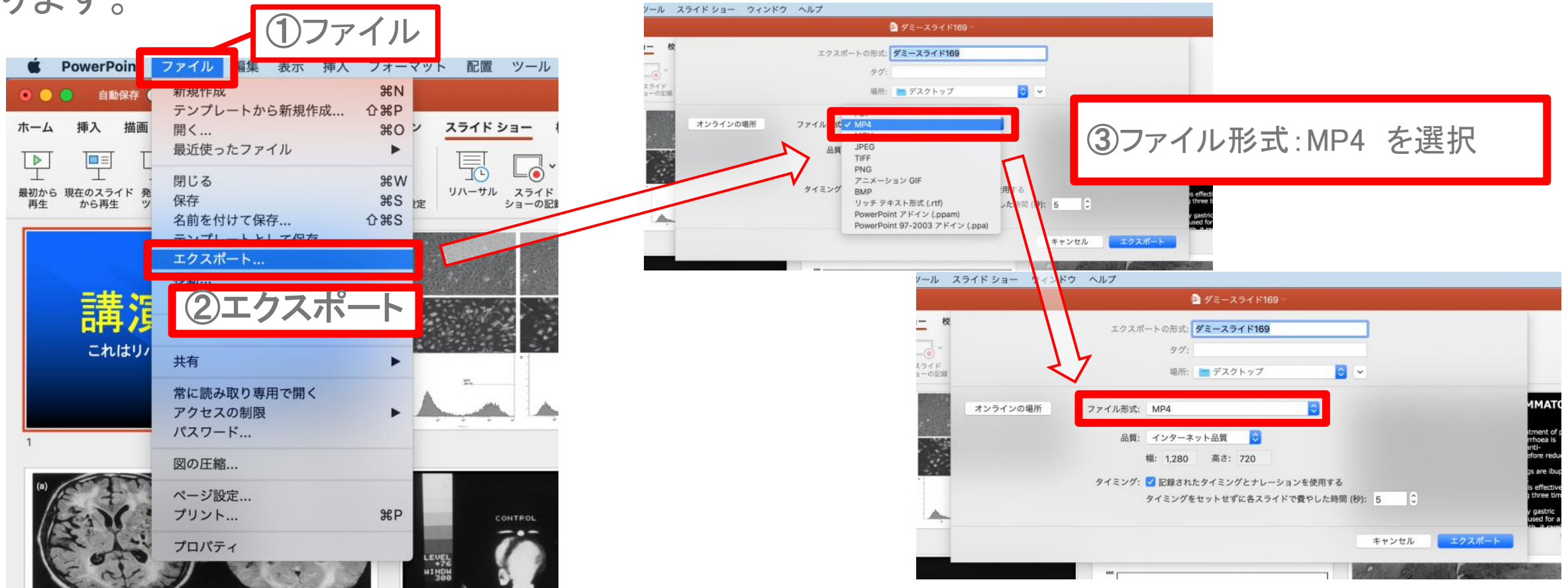
# V.スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか?」という質問が表示されます。「はい」をご選択ください。

The screenshot shows a PowerPoint slide show in progress. The current slide is titled "Summary" and contains text about endothelial injury and atherosclerosis. A dialog box is displayed in the center, asking "スライドショーの所要時間は 0:00:11 です。今回のタイミングを保存しますか?" (The slide show duration is 0:00:11. Do you want to save the current timing?). The dialog box has two buttons: "いいえ(N)" (No) and "はい(Y)" (Yes). The "はい(Y)" button is highlighted with a red box. A blue box with the text "「はい」をクリック" (Click "Yes") points to the "はい(Y)" button. Another blue box with the text "「スライドショーの終了」" (End Slide Show) points to the "スライドショーの終了" button in the top-left corner of the slide show interface. The slide show interface also shows a timer at 0:00 and 12:45, and a slide navigation bar at the bottom with 17 slides.

# VI.保存先の選択

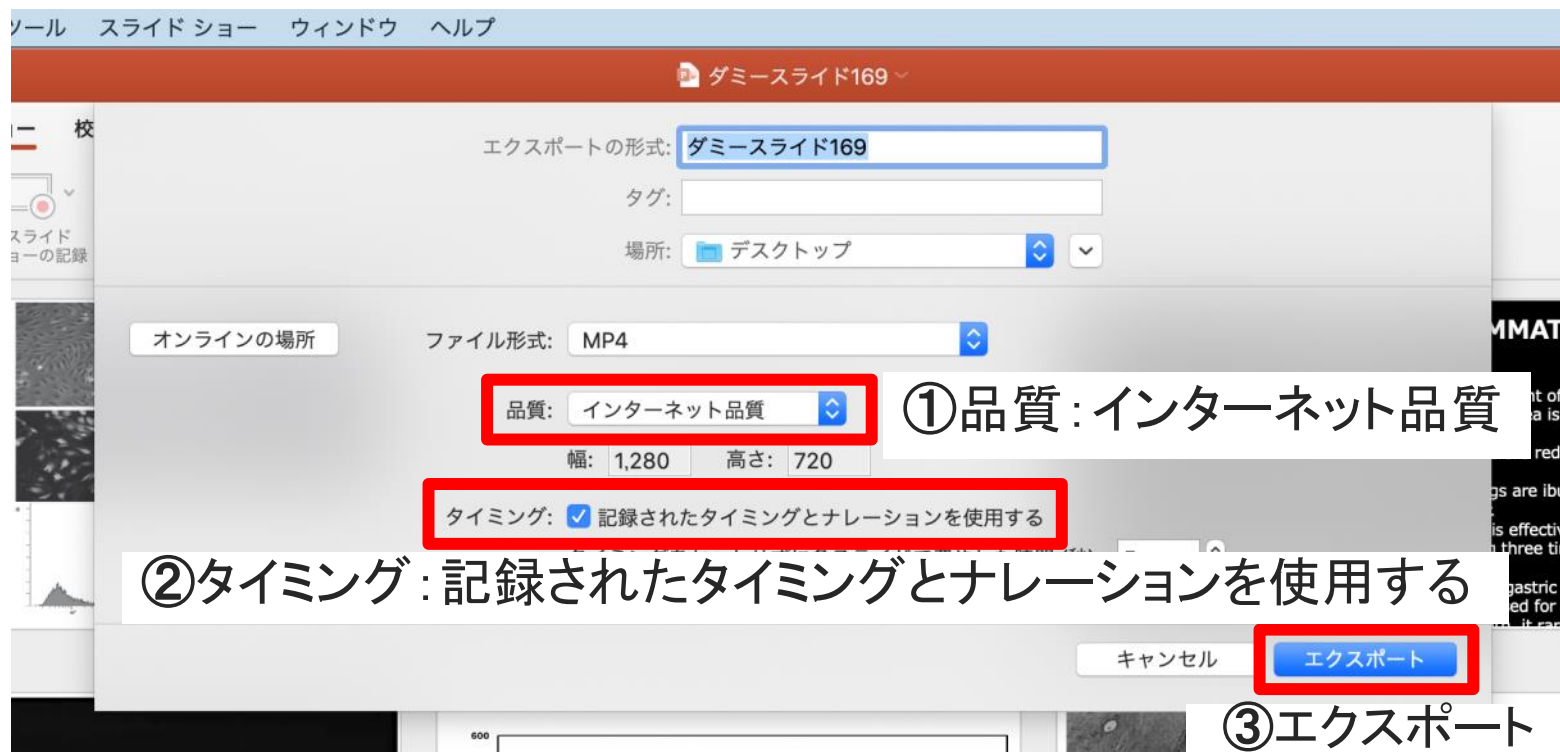
「ファイル」→「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。



## VII.品質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択し「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認してください。

「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



①品質: インターネット品質

②タイミング: 記録されたタイミングとナレーションを使用する

③エクスポート  
を選択

動画作成の進捗は、  
右下に表示される

変換しています: ビデオ ダミーライド169.mp4 をアップロードしています